

責争

戸収

飛斤

屋戸

令和8年(2026年)7月18日(土曜日)

老舗「緒明家」継続の秘けつは

三島でセミナー 社長登壇



緒明家の事業の歴史を語る緒明社長＝三島市の三島商工会議所

海運⇄不動産業へ 100年超の歩み語る

三島商工会議所が運営する三嶋百年企業の会は13日、三島市の同商議所で老舗セミナーを開いた。海運業から不動産業へと転換し、100年以上の歴史がある緒明合資会社の緒明春雄社長(77)が登壇し、事業を継続させてきた緒明家の歩みを語った。

幕末に下田沖で被災したロシア船「ディアナ号」の代船「ヘダ号」を建造した船大工の嘉吉氏をルーツに持ち、明治期には国内有数の船主へと成長した歴史を紹介した。木造船の限界など時代の変化を見据え、海運から撤退して不動産業へ舵(かじ)を切った経緯を説明。4代目太郎氏が1952年に低価格で市に楽寿園を譲渡した三島との深い縁や、父の実氏の言葉にも触れ、「まちのため」に尽くすという父の遺志を継いでいくと語った。三嶋百年企業の会には長寿企業の経験や知見を共有しようと約30社が入会している。